

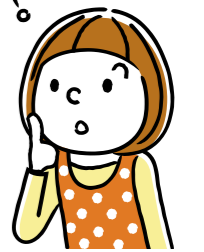
男女共同参画

って何だろう？

一人ひとりが 支え合い 認め合う



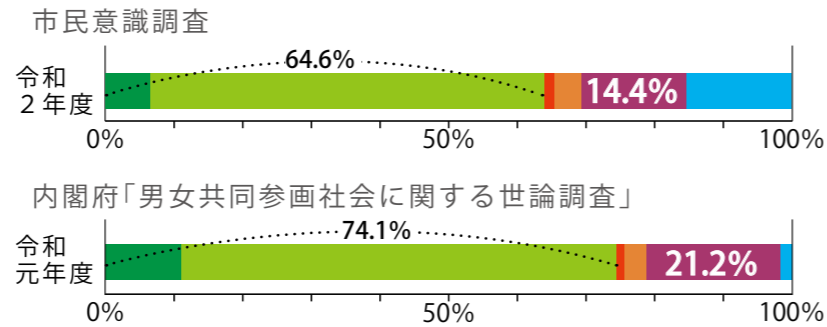
ぼくのランドセルは青色。本当は好きなヒーローの色と同じ赤色のランドセルが欲しかったな。赤色が好きでも、何も変じゃないよね？



お母さんは「女の子なんだから片付けをしなさい」っていつも怒るけど、お兄ちゃんにはあまり言わないのはどうして？

- 男性が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性が優遇
- 女性が非常に優遇されている
- どちらかといえば女性が優遇
- 平等である
- 分からない・無回答

● 社会全体において男女が「平等である」と感じる人の割合



大隅肝属地区消防組合
救急救命士
湯ノ上 晴南さん



高 齢者や女性など様々な人たちの活躍の場を増やしていかねければ、このまま人口減少が続く日本では、働く人も少なくなります。そのため、働く意欲のある人がこれまで以上に活躍できる制度をつくり、経済や地域活動などの社会制度の仕組みをうまく成り立たせることが必要になります。

このようなことから、性別に関係なくすべての人が、職場や地域、学校や家庭など、あらゆる場面で個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現はとても大切なことなのです。

看護師の母親の影響もあって、人の命を救う仕事をしたいと思うようになり、中学生からの夢であった救急救命士の職に就きました。

性別による仕事への差異は無いと思っていますが、救命の現場では体力面で男性より劣っていると感ずることはあります。しかし、女性への手当てや男性とは異なる不安軽減のための声掛けなど、「女性がいて安心する」と言われ嬉しかったこともあります。

私は大隅地区で初めての女性消防職員として採用され、当初は消防という男社会に入ることに不安もありました。今後はこれから入る女性職員の不安を解消できるよう、仕事をやりやすい環境や雰囲気づくりにも取り組みたいと考えています。

人ひとりが相手のことを思いやり、相手が自分と違うということをお互いに理解し合うことで、性別に関係なく、いろいろなことにチャレンジでき、個性や能力を生かしてあらゆる分野で活躍できる社会を男女共同参画社会といいます。

世の中には、「男の人はこうあるべきだ」、「女の人はこうでなくてはいけない」といった性別によって役割を決めてしまう意識があります。しかし、好きなことや得意なことは人それぞれです。性別が同じだから、できること、できないこと、好みや考え方が同じというわけではありません。

誰かが、自分の能力を生かせる社会になったら、それは自分にとっても、社会にとっても良いことです。性別による理由で、それぞれが希望することが制限されないようにしなければなりません。

次に、男女の地位の平等感についてですが、男性の方が優遇されていると回答した人は、国の74.1%より本市は64.6%と割合が少ないところです。しかし、男女が「平等である」と回答した割合は15%にも満たないことが分かります。

鹿屋市役所 健康増進課
保健師
西川 伸一さん



3年前に鹿屋市役所では初となる男性保健師として採用されました。それまで看護師として女性の多い組織の中で働いてきたので、男性だからという理由で働きづらさを感じることはありませんでした。

私は女性特有の健康相談を受けることはなく、電話や窓口で「保健師です」と話すとき男性なのに驚かされることもありましたが、思春期の男子に関する相談や同性の自殺に関する悩みなど、私が任される仕事も増えています。

現在、県内の行政職では男性保健師は3人しかいません。保健師業務は、個別訪問により生活環境や家族との関係などを観察し支援につなぐことのできる、性別に関係なくやりがいのある仕事だと思います。